

令和 3（2021）年度事業計画（案）

令和 3(2021)年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

〈電話相談「認知症 110 番」事業〉

認知症予防財団の無料の電話相談「認知症 110 番」（原則月、木曜日）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出を受け、令和 2 年度は 2 カ月以上お休みしたほか、3 カ月弱の間、時間短縮を迫られました。3 年度はコロナ対策を徹底させた上でフル稼働できるようにすることを目指します。コロナ禍の収束後は早期に勉強会を復活させ、相談員のスキルアップを図ります。

〈シンポジウム事業〉

会合形式はもちろん、オンラインでも開催できるノウハウを積み重ねて参ります。幸い、財団の活動が少しずつ知られ、高齢者ビジネスを展開する企業より協賛のお声かけをいただく機会も少しずつ出てきています。認知症予防に関するだけでなく、「高齢者のライフサポートのあり方」など幅広いテーマで開催することを目指します。

〈調査研究事業〉

当財団発行の認知症のハンドブックは 1～6 分冊となっていて、ワンセットそろえないと完全なガイドブックとなりません。また、パーソンセンタードケア的な観点や、相続問題など関心の高い分野の情報が掲載されていません。数百万円を要するためスポンサーの確保が前提とはなりますが、ハンドブックに新たな情報を盛り込んで更新し、6 分冊に分かれているものを 1 冊に集約したいと考えています。

〈財団報「新時代」の発行〉

令和 3 年度は 127 号～132 号を発行します。日本認知症ケア学会理事長の繁田雅弘・東京慈恵会医科大学精神医学講座教授（当財団評議員）に、診察で心がけていることやご自身が手がける認知症カフェの様子を伝える連載を新たに担当していただきます。